

障害のある学生の支援で困った時に相談できる先

支援機器の購入を検討中だが、どの機器が良いかアドバイスが欲しい。



ピア・サポーターの募集や育成など、他大学がどのように運営しているか知りたい。



合理的配慮の申請手続き、科目担当教員への周知などの体制を整えたい。



学内で対応に困った時は、以下のネットワークを活用してみましょう。相談方法などの詳細は、ホームページを確認してください。

障害学生修学支援ネットワーク（事務局：日本学生支援機構）



障害学生修学支援体制の整備を目的に、全国の大学等から障害学生修学支援に関する様々な相談に応じています。拠点校：札幌学院大学・宮城教育大学・筑波大学・富山大学・日本福祉大学・同志社大学・関西学院大学・広島大学・福岡教育大学。

PHED 障害と高等教育に関するプラットフォーム（事務局：東京大学）



大学・自治体・企業・中間支援組織（NPO や社会福祉法人等）が連携し、障害のある学生の社会活動を支援する体制構築のための全国プラットフォームを運営しています。障害学生支援のスタンダード集とオンライン専門研修の開発、各地の大学等と連携した産官学福地域ネットワーク構築などの事業を行うほか、全国の大学や学生等からの修学や就労に関する相談窓口を開設しています。

HEAP 高等教育アクセシビリティプラットフォーム（事務局：京都大学）



高等教育における障害と支援に関する情報やノウハウの集約・発信、関係機関のネットワーク形成を目的に、高大連携・移行支援、障害学生支援、社会移行支援といった事業を行っています。全国の大学から障害学生支援に関する相談を受け付けています。

PEPNet-Japan 日本聴覚障害学生高等教育支援ネットワーク（事務局：筑波技術大学）



全国の高等教育機関における聴覚障害学生支援体制の確立および全国的な支援ネットワークの形成を目的に活動しています。聴覚障害学生支援に関するあらゆるご相談に対応している他、支援や情報保障に関するコンテンツの開発、FD/SD 研修会等への講師派遣、情報保障技術の普及・啓発などの事業を行っています。

配慮が必要な学生の支援体制づくりのヒント —障害のある学生への合理的配慮提供にあたって—

2024年1月 発行

香川大学学生支援センターバリアフリー支援室 研究代表者：大沼泰枝
〒760-8521 香川県高松市幸町1番1号 TEL：087-832-1399
ホームページ <https://www.kagawa-u.ac.jp/bf-support/>

<共同研究者>

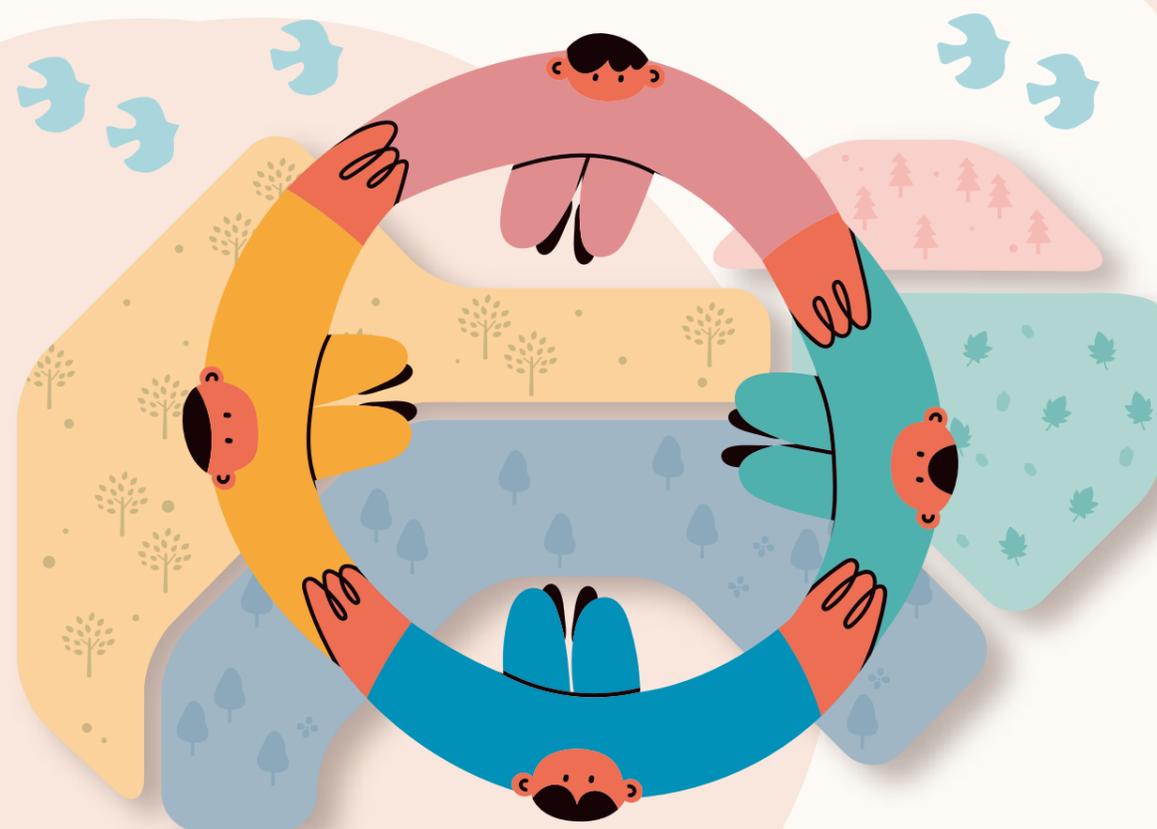
香川大学学生支援センターバリアフリー支援室
香川大学大学教育基盤センター
高知大学学び創造センターインクルージョン支援推進室
徳島大学キャンパスライフ健康支援センター

常田美穂
西本佳代
杉田郁代
住谷さつき



配慮が必要な学生の支援体制づくりのヒント

—障害のある学生への合理的配慮提供にあたって—



リーフレット作成にあたって

文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）」の研究助成を受け、香川大学、高知大学、徳島大学の障害学生支援部署の担当者が連携し、四国の障害学生支援の充実を図るため、ネットワーク形成をテーマに取り組みを行っています。

令和6年度より、全ての高等教育機関で障害のある学生から配慮の申し出があった場合、合理的配慮の提供が義務化されます。これまでに障害学生支援のノウハウが蓄積されている大学もあれば、これから支援体制の構築にあたる大学等、大学によって様々な状況にあることが予想されます。このリーフレットは「連携」をテーマに、障害学生支援で困った時の基本的対応や相談できる機関の情報などについてまとめたものです。皆さまの業務の一助となれば幸いです。

四国障害学生支援ネットワークプロジェクト

！配慮が必要な学生の対応で、こんなことはありませんか？

キーワードは『**連携**』



●科目を担当する教員



私が開講する授業を視覚障害のある学生が受講するようです。授業における配慮事項が書かれた文書が届きました。授業で使用する教材や資料について、自分なりに文字のサイズを大きくするなど準備はしていますが、これだけで対応は十分でしょうか？学生に合理的配慮を提供するにあたって参考となるような資料があれば知りたいです。



視覚障害のある学生にとって、見やすいフォントや色使い等は一人ひとり異なりますので、学生と打合せをすることをお勧めします。事前に授業で使用するスライド・配布資料を電子データで提供することで、学生は手元のタブレットで自分の見やすい方法で見ることが可能になります。学内に障害学生支援部署がある場合は、そちらに相談しても良いでしょう。障害のある学生の合理的配慮については、以下のような参考資料があります。

「合理的配慮ハンドブック ～障害のある学生を支援する教職員のために～」 日本学生支援機構（2018）
「よくわかる！大学における障害学生支援」 竹田一則 編著 ジアース教育新社（2018）

学生本人との連携

●発達障害のある学生



大学では、授業の履修計画を自分で立てたり、授業によって評価方法も異なるなど、把握しなければならない情報が多くて大変です。課題もたくさん出るので、どれから優先的にやったらよいか分からず、パニックになりそうです。高校の時のように毎日顔を合わせる担任もいないし、誰に相談したら良いのでしょうか？



大学に障害学生支援部署がない場合は、所属する学部・研究科の担任教員や学生支援の窓口にご相談してみましょう。専門的な相談対応ができるカウンセラーがいる部署を教えてもらうことができるかもしれません。大学に障害学生支援部署がある場合は、そちらに相談してみましょう。自分にあった科目を履修するための履修相談や課題・スケジュールの管理をサポートをしてもらえる場合があります。

障害者支援部署との連携

●休みがちな学生の保護者



娘が数か月前から夜眠れないと言い始め、食欲も減り、大学も休みがちになりました。心配だったので、心療内科に連れて行ったら、「うつ状態」と言われました。本人は、学費のこともあるので4年で卒業すると頑張っていますが、親としては本人の状態がとても心配です。こんな時、どうしたら良いのでしょうか？



「うつ状態」にはうつ病、双極性障害、適応障害などに伴うものと、発達障害、不安障害などから二次的に生じるものがあります。診断によって治療方法も対処方法も異なります。まず、主治医から診断名と治療方針の説明を受け修学が可能かどうかの相談をし、障害学生支援部署と医療機関が連携して、状況に合わせて支援をしてゆくことが望ましいと思われます。うつ病などの精神疾患は治療により改善することが多いので、場合によっては休学して治療に専念し、回復してから修学を再開することも必要となります。

保護者や医療機関との連携

●障害学生支援業務を担当する職員



私の勤務する大学では、障害学生支援の専門部署はありません。障害学生支援に関するFD・SDを企画したいのですが、講師を誰にお願いすれば良いか検討がつかず、困っています。近場でお願いできると良いのですが…。



四国地区大学教職員能力開発ネットワーク（Shikoku Professional and Organizational Development Network in Higher Education. 以下「SPOD」という。）加盟校の場合は、講師派遣プログラムを利用できます。SPOD内の研修講師を年1回無料で派遣しています。障害学生支援を専門とする研修講師も在籍しており、FD・SD企画の協力が得られます。

既存のネットワークとの連携

障害のある学生への合理的配慮提供の義務化に向けて、障害学生支援体制の構築を進めることになりました。研修会に参加して、一般的な対応は理解しています。本学の状況にあったアドバイスが個別に欲しいです。

障害のある学生の支援に関して相談できる機関の紹介は次ページへ